

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
飛騨市	河合稲越川流域 (上稲越、下稲越、大谷)	平成24年8月1日	令和3年3月18日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	33 h a
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	29 h a
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	4.5 h a
i うち後継者のいない農業者の耕作面積の合計	2.3 h a
ii うち後継者のいる農業者の耕作面積の合計	2.2 h a
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	8 h a
(備考) ④の耕作面積は、河合地域全体の面積である。	

2 対象地区の課題

<p>【全体】</p> <ul style="list-style-type: none">・山が近く木が生い茂っているため日照時間が非常に短い・田が狭小であり、営農効率が悪い・兼業農家だが、機械が高いため今の機械が壊れたら農業をやめてしまう・担い手に頼んでいる人も多くいるが、ほとんどの方が機械等を持っていないため、貸していた農地が戻ってくると困る・後継者不足
--

3 対象地区内における課題に対する取組

<p>【全体】</p> <ul style="list-style-type: none">・耕作できなくなった農地を改良組合が相談窓口となり、地域で話し合いを行う <p>【上稲越】</p> <ul style="list-style-type: none">・中山間地域等直接支払制度を活用していく <p>【下稲越】</p> <ul style="list-style-type: none">・機械の共同利用の検討を行う・稲越米としてのブランド化、PRをして地域を活性化させるという夢をもって前向きに取り組む続ける
